

設計図書等に関する質問に対する回答書

入札参加者 様

港湾局 物流企画課長

蝦名 隆元

委 託 名	本牧ふ頭D突堤荷さばき施設設計に伴う地質調査業務委託
-------	----------------------------

設計図書等に対する質問及び回答は次のとおりです。

質 問	回 答
①地質調査業務（解析等調査）の旅費交通費（率計上分）の対象となるのは、「解析等調査業務」の全ての項目（6項目）及び「打合せ等」と考えてよろしいでしょうか。	①土木工事標準積算基準書（計画・調査編）令和元年7月（横浜市）設計業務等積算基準書（参考資料）第1編総則第2章積算基準（参考資料）第1節積算基準1-3-1旅費交通費の率を用いた積算（p.参1-2-4）に準拠してください。
②その際、「土木設計業務」、「地質調査業務」のうち、何れの率が適用されるものと考えればよろしいでしょうか。	②「土木設計業務」の率を適用します。
③地質調査業務（解析等調査）の電子成果品作成費（率計上分）の対象となるのは、「解析等調査業務」の全ての項目（6項目）及び「打合せ等」と考えてよろしいでしょうか。	③土木工事標準積算基準書（計画・調査編）令和元年7月（横浜市）第3編土木設計業務第1章土木設計業務等積算基準第3節電子成果品作成費（p.3-1-3）に準拠してください。
④資機材運搬のうち「軽油」については、2020年2月の物価資料（2誌）の平均値が採用されるものと考えてよろしいでしょうか。	④土木工事資材単価表（令和2年1月）の「土木工事資材単価について」を参照してください。
⑤解析等調査業務のうち、「地盤圧密解析」と「地盤液状化」については、設計業務等標準積算基準書の「軟弱地盤技術解析業務」の歩掛を使用するものと考えてよろしいでしょうか。	⑤土木工事標準積算基準書（計画・調査編）令和元年7月（横浜市）第2編地質調査業務第4節軟弱地盤技術解析4-2軟弱地盤技術解析業務（p.2-2-27）に準拠してください。

⑥上記については、「現況地盤解析」と「対策後地盤解析」のどちらと考えればよろしいでしょうか。	⑥「現況地盤解析」と考えてください。
⑦検討断面が複数になる場合、断面数についてお教え頂けますでしょうか。	⑦検討断面数は、「1断面」です。
⑧標準歩掛以外が適用されている場合は、適用されている歩掛（直接人件費人工数、補正係数等）をご教示ください。	⑧標準歩掛以外は適用していません。
⑨地盤圧密解析、1式となっておりますが数量（断面数）を教えてください。地盤液化化、2箇所となっておりますが2断面ということでしょうか。	⑨「1断面」です。